開催報告

ダイバーシティ・キックオフ シンポジウム開催報告

玉 田 薫*

九州大学 先導物質化学研究所
☎ 819-0395 福岡市西区元岡 744

(2019 年 1 月 13 日受理)

Report on the Diversity Kick-off Symposium

Kaoru TAMADA*

Institute for Materials Chemistry and Engineering,
744 Motoooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan

(Received January 13, 2019)

1. は じ め に

本年度日本表面科学会と日本真空学会との合併による新学会「表面真空学会」設立に際して、新たに「ダイバーシティ委員会」が設立されました。本学会における女性比率は非常に低く、合併時データとして、正会員：7%，学生会員：12%，シニア会員：4%，功労会員及び名誉会員：0%です。公益法人にふさわしい、女性研究者がのびのびと活躍できる学会になれるよう、これからも会員増強を含めた多面的活動を積極的に進めたいと思っていますので、是非ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

2. ダイバーシティ・キックオフシンポジウム

2018 年 11 月 19 日には、委員会設立記念として学術講演会に併せてダイバーシティ・キックオフシンポジウムを開催しました。表面真空学会の女性研究者を一堂に集め、お互いの連携を深めると共に、その実力を広く男性会員の皆さんにみてもらうこと、すなわち女性の活躍の見える化を目的として企画いたしました。

まず基調講演として、本学会の女性研究者を代表する 2 名の先生に登壇いただきました。最初の登壇者は現在 JTS 副理事・ダイバーシティ推進室長の渡辺美代子先生、続く登壇者は分子研所長・日本化学会会長の川合眞紀先生です (Fig. 1)。

Fig. 1. Dr. Miyoko O. Watanabe (left) and Dr. Maki Kawai (right), plenary lecturers.

両先生からは、ご自身の研究者としての経験、仕事と家庭の両立の経験を踏まえ、女性研究者、そして男性研究者に向けて、熱いメッセージをいただきました。続いて学会の今後を支える中堅・若手女性研究者による口頭発表 6 件がなされ、充実した質疑応答が行われました。口頭発表枠に入り切らなかった講演については、ポスターセッションで発表いただきました。

今回のシンポジウムには、学会役員の先生方をはじめとする多くの男性研究者に聴講いただき、収容人数 50 人の会場は一時立ち見が出る状況でした。皆様の暖かいご支援に感謝いたします。

3. これからの活動について

キックオフシンポジウムの前に行ったランチミーティングでは今後の活動について活発な意見交換を行うことができました。アンケートへの回答では、女子学生をターゲットとした企業就職セミナーや各種勉強会の提案が寄せられました。託児所についても要望する声が届いています。

今後の委員会の活動としては、①女性比率などのデータの公表、②具体的な目標値の設定、③活躍の可視化の取り組み、④両立支援（出産育児/介護）、⑤各種表彰/幹部登用などが考えられます。もちろん多様な人材活用は女性に限ったことではなく、国際化や障害者支援などとも合わせて多面的に考えていくべきことです。学会のあるべき姿である社会に開かれた学会を目指し活動を進めて参りたいと思います。今度ともご指導よろしくお願いいたします。

* E-mail : tamada@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp